

策定年月	令和5年8月
見直し年月	令和 年 月

# 麦・大豆国産化プラン

産地名：鏡野町

(作成主体:(株)夢アグリ鏡野)

# 1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

## 大豆

### ●現状

- ・水稲からの転換作物として、町として推進している。
- ・JAを通じた卸売業への販売は継続的にあり、今後も需要が増加する事が予想される。
- ・町内で味噌加工も行われており町の特産品となっている。
- ・県内向けの豆腐や味噌等の原料として使用されており、安定的な需要がある。

### ●課題

- ・実需のニーズに合わせた生産拡大
- ・生産者の作業効率の向上
- ・天候により収量が大きく左右される
- ・農地の集約や団地化を進めるために、機械導入が必要。

### ●課題解決に向けた取組方針

- ・水田農業の基幹作物として、実需のニーズの継続的な把握に努めるとともに、収量・品質の高位安定化に向けた栽培技術の徹底と作業効率の向上を推進することにより、大豆の安定生産及び、供給拡大を図る。
- ・収穫にかかる機材等を導入し、作業の効率化を図ることで、生産意欲の向上に働きかけることが可能となり、さらなる生産拡大を推進する。
- ・集中的に作業を行い作業効率化が図れるよう、営農管理システム等の活用をしながら団地化を進める。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

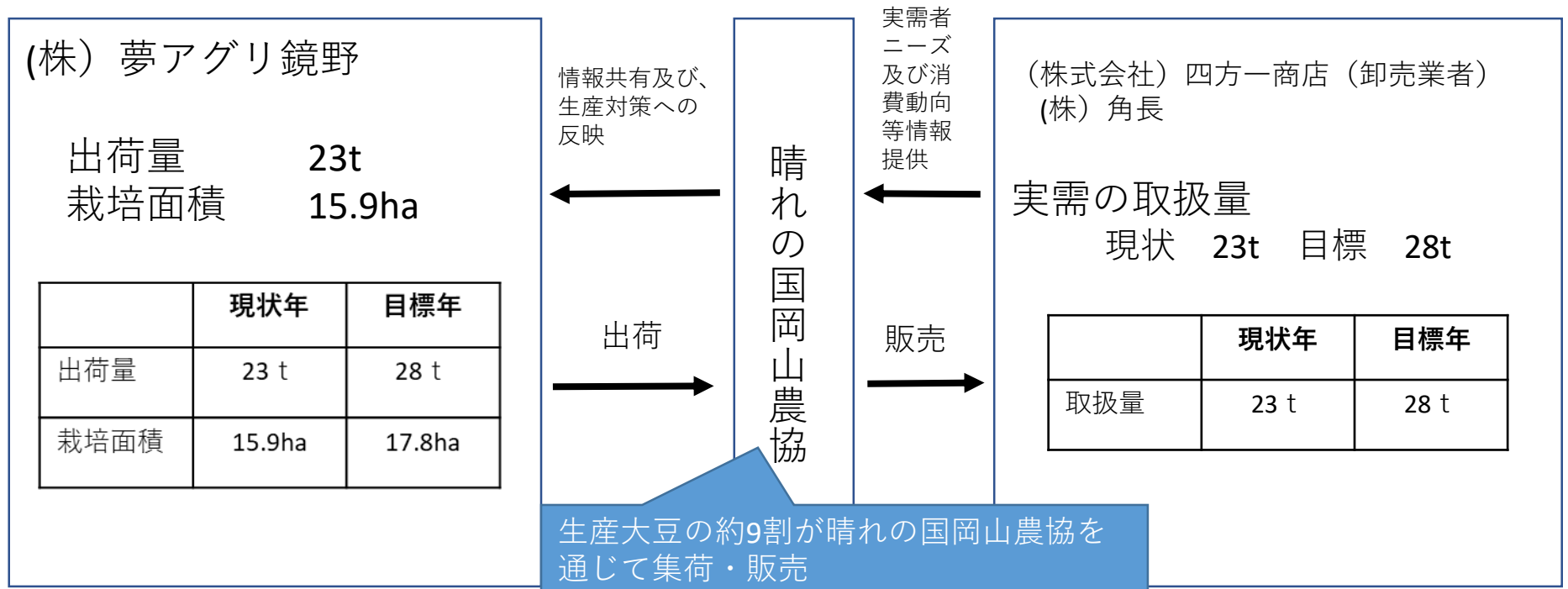
## 2. 産地と実需者との連携方針

### 大豆

#### ●連携方針

・JA等からの情報共有により、実需者ニーズや消費動向の把握に務めるとともに、その情報を生産現場へフィードバックし、生産体制に反映させる。

現状年:大豆 令和4年産 目標年令和7年産



※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者(製粉会社、製パン会社、製麺会社等)とする。

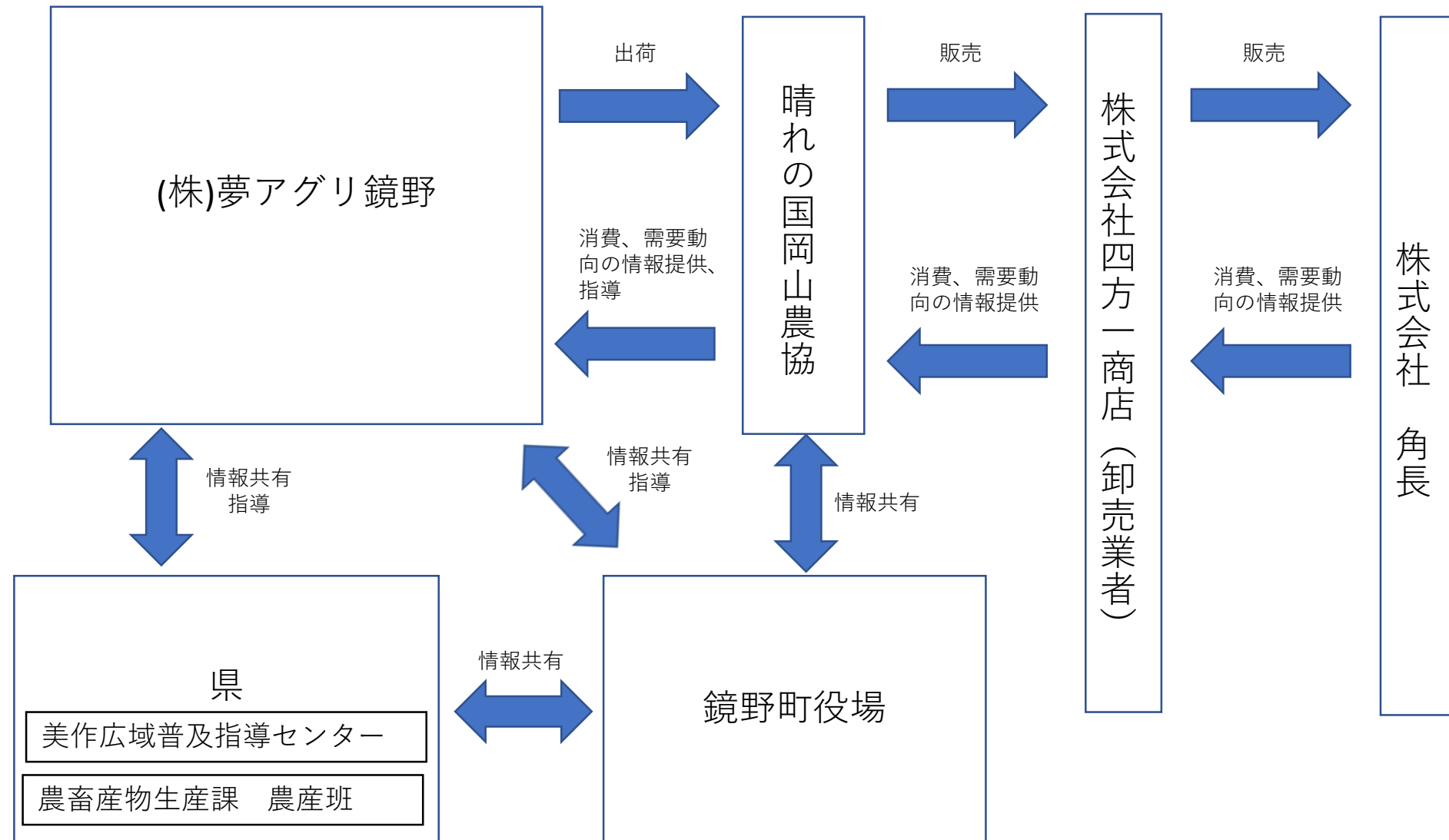
※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先(最終実需者)について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

### 3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割

#### 【大豆の国産化に向けた推進体制】



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。